



東大阪市勢要覧2017

発行:平成29年(2017年)2月 東大阪市

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号

TEL:06-4309-3000(代)

<http://www.city.higashiosaka.lg.jp/>

 東大阪市

HIGASHIOSAKA
CITY GUIDE



50年の歴史とともに 輝く未来へ進む 東大阪市

Higashiosaka City
Moving toward a brighter future
with 50 Years of History

昭和42年2月1日、布施市、河内市、枚岡市の3市が合併し、
新たなスタートをきった東大阪市。
平成29年2月1日に市制施行50周年を迎え、さらなる発展を誓います。

On February 1, 1967, our city made a new start as Higashiosaka City after the merger of three cities,
Fuse, Kawachi and Hiraoka.
We are committed to further development of Higashiosaka with the 50th anniversary of municipalization
on February 1, 2017.

市長からのご挨拶

Greetings from the Mayor

東大阪市長 野田義和

Mayor of Higashiosaka City
Yoshikazu Noda



昭和42年に布施市・河内市・枚岡市の三市合併により誕生し、現在約50万人の市民が暮らす大阪府内第3の都市である東大阪市は、平成29年2月に市制施行50周年という大きな節目を迎えました。

本市には、世界に誇るオンリーワン、ナンバーワンの技術をもった中小企業が集積しており、歯ブラシから人工衛星まで何でもつくれる「モノづくりのまち」として全国に名を馳せています。また、全国高等学校ラグビーフットボール大会の開催地でもあり、多くのラグーにとって憧れの聖地である東大阪市花園ラグビー場を有する「ラグビーのまち」としても知られています。この日本最古のラグビー専用球技場は、ラグビーワールドカップ2019日本大会の開催地の一つに決定されており、国内外から多数のお客様を迎え入れることになる同大会は、本市のさらなる発展のための大きなチャンスになると考えております。

本市といたしましては、これら「モノづくり」、「聖地花園」など本市のもつ世界に誇るべき魅力を広く情報発信していくことに加え、東大阪市が市民にとって「住みたいまち、住み続けたいまち」となるよう私を先頭に市役所一丸となって取り組みを進めてまいります。

結びにあたり、これまで半世紀にわたって皆さまとともに歩んできた東大阪市の歴史と、現在の東大阪市のつくりあげた先人たちへ深い敬意と謝意を表しますとともに、本年を契機として、市民の皆さまとより強固なスクラムを組んでこれからの東大阪市の輝かしい未来を築くため、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、市制施行50周年にあたっての挨拶といたします。

平成29年2月

Higashiosaka, the third largest city in Osaka Prefecture with a population of approximately half a million, was formed after a merger of three cities of Fuse, Kawachi and Hiraoka in 1967 marking a major milestone with the 50th anniversary of municipalization on February, 2017.

Higashiosaka is well known nationwide as “City of Manufacturing,” where anything can be manufactured from tooth brush to artificial satellite forming industrial clusters of small and medium-sized enterprises with world-class “One and Only” or “Number One” technologies.

Our city is also recognized as “City of Rugby,” with Higashiosaka Hanazono Rugby Stadium which is a venue for the National High School Rugby Tournament and a mecca for many rugby players. This Japan’s oldest rugby-specific stadium was selected as one of the venues for the Rugby World Cup 2019 and is expected to attract

many local and international visitors. I consider this is definitely a great opportunity for our city to further develop.

I am committed to lead all the staff to work together to create our city where “people wish to live and to continue to live” while appealing our city’s attractiveness such as “Manufacturing” and “Hanazono.”

On this occasion of the 50th anniversary of municipalization of Higashiosaka, I extend my deep respect and appreciation for the history that all the people have been walking with since the past half century and for the predecessors who established the present Higashiosaka City.

At the same time, I would like to ask your continued support and cooperation in order to build a brighter future by scrumming stronger together.

February, 2017

I N D E X

5 中核市・東大阪市
Higashiosaka, a Core City

7 ラグビーのまち
City of Rugby

11 モノづくりのまち
City of Manufacturing

13 人を育む
歴史と文化
History and Culture that nurture People

15 豊かな自然に
抱かれて
Embraced by Abundant Nature

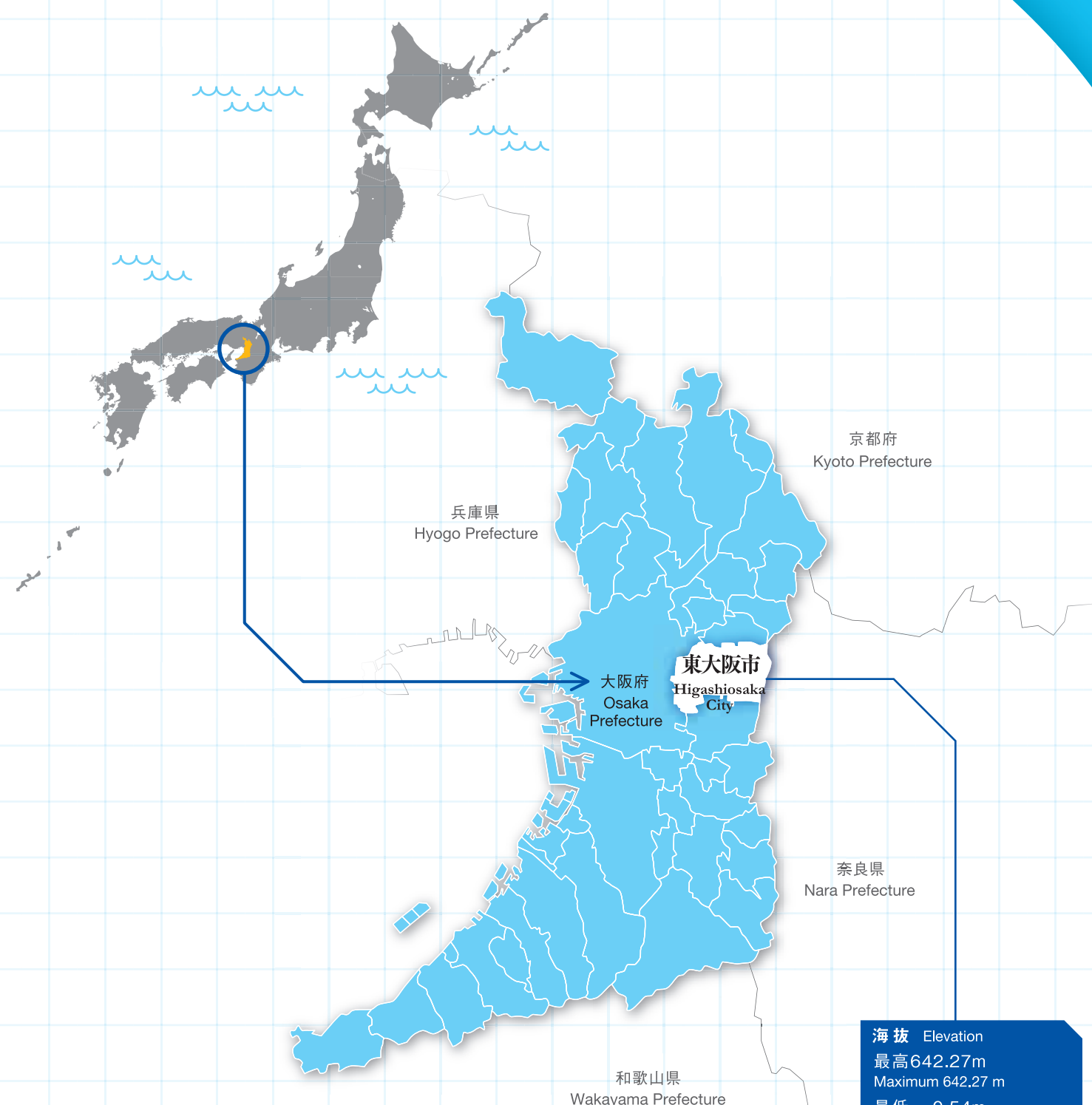
17 名誉市民
Honorary Citizens

21 市の歴史
50年の歩み
City's 50-year History

27 統計・財政
Statistics and Finance

29 市議会
City Council

30 市の紹介
Introduction of the City



海拔 Elevation
最高 642.27m
Maximum 642.27 m
最低 0.54m
Minimum 0.54 m

広ぼう Area
周囲 44.8km
Circumference 44.8 km
東西 11.2km
East to West 11.2 km
南北 7.9km
North to South 7.9 km

モノづくりのまち

日本でも有数の工業都市である東大阪市には、技術力と創造力あふれる中小企業が数多くあります。

ラグビーのまち

ラグビーの聖地“花園ラグビー場”がある東大阪市は、平成3年に「ラグビーのまち」を表明しています。

学生のまち

市内には、近畿大学や大阪商業大学、大阪樟蔭女子大学、東大阪大学の4大学をはじめ多くの学校があり、若い力が集まるまちです。

中核市・東大阪市

Higashiosaka, a Core City

Higashiosaka is surrounded by urban area and greens nestled in the foot of Ikoma mountain range with full of nature; to the west lies Osaka City, which is a hub city in the Kansai region and to the east lies Nara Prefecture, which was the capital of ancient Japan. Our city is also well known as “City of Manufacturing” and “City of Rugby.” Higashiosaka is the 3rd largest city in Osaka Prefecture following the cities of Osaka and Sakai, and is still growing and developing as a core city with a population of approximately half a million.

西に関西の中心である「大阪市」、東は古都「奈良県」があり、自然豊かな生駒山系に抱かれ、都心と緑に囲まれたまち“東大阪市”。「モノづくりのまち」、「ラグビーのまち」としても全国に名を馳せています。大阪府内では、大阪市、堺市に次いで3番目の人口規模を誇り、現在約50万人の市民が暮らす中核市として発展を続けています。

歴史と自然の豊かなまち

旧石器時代から始まる歴史と、古墳や史跡などの歴史遺産、そして生駒山系の豊かな自然は市民の大切な財産です。

交通の便のよいまち

高速道路や鉄道路線が整備され、京都、神戸、奈良や新大阪、大阪国際空港、関西国際空港へも1時間以内でアクセスでき、関西交通の要になっています。

ラグビーのまち東大阪

ラグビーを楽しむすべての人の憧れの地となっている聖地「花園ラグビー場」は、昭和4年に完成した日本で初めてのラグビー専用グラウンドです。

平成27年4月には「近鉄花園ラグビー場」から「東大阪市花園ラグビー場」に名称変更しています。

Higashiosaka,
a City of Rugby

The Hanazono Rugby Stadium recognized as a mecca by all rugby players and fans is the first rugby-specific stadium in Japan opened in 1929.

This stadium was renamed to “Higashiosaka Hanazono Rugby Stadium” from “Kintetsu Hanazono Rugby Stadium” in April, 2015.



ラグビーの聖地「花園」 全国高校ラグビーフットボール大会

全国高等学校ラグビーフットボール大会は、毎年12月末から1月にかけて花園ラグビー場で行われます。昭和38年の第42回大会より花園ラグビー場での開催が定着しました。第84回大会からは「ラグビーのまち東大阪市賞」を創設し、ラグビーボールをかたどった木製(クスノキ)のトロフィー(右)を優勝校へ授与しています。



ラグビーの聖地にふさわしい団結力

花園ラグビー場は、昭和4年に日本で初めてのラグビー専用グラウンドとして完成しました。全国的にその名が知られる花園ラグビー場は、ラグビーを楽しむすべての人の憧れの地となっています。その花園ラグビー場がある東大阪は平成3年3月に「ラグビーのまち東大阪」を表明し、ラグビーのもつ「力強さ・たくましさ」「連帯性・団結力」「友情・すがすがしさ」というイメージを活かしたまちづくりを進めています。

Our Solidarity suitable for the mecca for rugby

Hanazono Rugby Stadium was opened in 1929 as Japan's oldest rugby-specific stadium. The stadium whose name is recognized all over the country is recognized as a mecca by all rugby players and fans. In March 1991, Higashiosaka, where the stadium is located, declared “City of Rugby,” and is promoting city development making advantages of rugby's images: “Dynamism and Toughness,” “Solidarity and Unity” and “Fellowship and Purity.”



近鉄ライナーズ



昭和4年、近鉄ラグビー部として創部。以後、花園ラグビー場を本拠地に全国社会人大会や日本選手権で幾度も優勝を重ね、現在はジャパンラグビートップリーグに所属する歴史と伝統を誇る名門チームです。

ラグビーのまち東大阪 マスコットキャラクター“トライくん”

こんにちは。ぼくは、東大阪市のマスコットキャラクター、トライくん。
年末年始、全国高等学校ラグビーフットボール大会が開催される花園ラグビー場で来場者をお出迎えしたり、東大阪市のいろんなイベントに参加したりして、「ラグビーのまち東大阪」をアピールしているんだ。
ぜひ、東大阪に遊びに来てね！

ラグーシャツで 「ラグビーのまち」 を盛り上げる

「ラグビーのまち」をより一層推進するため、平成22年からクールビズ期間に職員が東大阪市オリジナルのラグーシャツを着用しています。



ご当地グルメ“カレーパン”

平成23年に「東大阪カレーパン会」を設立。カレーパンをよく見ると、どこことなくラグビーボールに形が似ていませんか？！



東大阪市オリジナルナンバープレート

平成23年からラグビーボールと人工衛星「まいど1号」のイラストが入った原動機付自転車などのオリジナルナンバープレートを交付しています。



ラグビーワールドカップ2019™が “聖地” 東大阪市 花園ラグビー場へ

Rugby World Cup 2019 to be held at “Higashiosaka Hanazono Rugby Stadium”

Higashiosaka has promoted campaign since 2010 with citizens to host the Rugby World Cup 2019 Japan, and finally in March, 2015, Higashiosaka Hanazono Rugby Stadium was selected as one of the venues.

平成22年度からラグビーワールドカップ2019™日本大会の誘致活動を市民と一丸となって進め、平成27年3月、ついに東大阪市花園ラグビー場での同大会の開催が決定しました。



平成27年3月2日、ラグビーワールドカップ2019™開催地に東大阪市花園ラグビー場が決定

アイルランドのダブリンで行われた発表会が市役所で生中継され、「大阪・東大阪」と読み上げられると会場は大歓声に包まれました。



花園ラグビー場
みらい魅力活性化
委員会発足

ラグビーワールドカップ2019™日本大会の花園開催の成功と東大阪市経済の活性化に向けて設立。



©JR2019, Photo by H.Nagaoka

大躍進!!
ラグビー日本代表

ラグビーワールドカップ2015イングランド大会でリーグ戦3勝という歴史的な結果を残したラグビー日本代表。開催国として挑む日本大会では、さらなる活躍が期待されます。



©JR2019, Photo by H.Nagaoka



©JR2019, Photo by H.Nagaoka

世界で3番目に大きなスポーツ大会

FIFAワールドカップ、オリンピックに次ぐスポーツの祭典「ラグビーワールドカップ」。4年に一度、20カ国が集結し、ラグビーの頂点をめざして熱い戦いを繰り広げます。



©JR2019, Photo by H.Nagaoka

モノづくりのまち東大阪

東大阪は、日本を代表する“モノづくりのまち”です。 Higashiosaka, a City of Manufacturing
世界的な最先端技術から
日常の暮らしに欠かせない技術まで、
幅広い技術がこの東大阪には集積しています。

Higashiosaka is recognized as a leading manufacturing city in Japan.
From world-class cutting-edge technologies to basic technologies essential for daily life, a wide range of technologies are gathered here in Higashiosaka.

モノづくりの起源

東大阪の中小企業群は、河内木綿、鋳物、伸線業を源に新しい産業の発展に柔軟に対応しながら多種多様なモノづくり企業の集積を形成してきました。



河内木綿

1704年に大和川の付け替え工事によって不要となった池や旧大和川の川床が綿作農業に利用され、河内木綿の一大産地を形成しました。



鋳物工業

2,000年前、大阪の南方から技術が伝わり、中世紀には農耕具や鍋、釜などの鋳造が行われました。

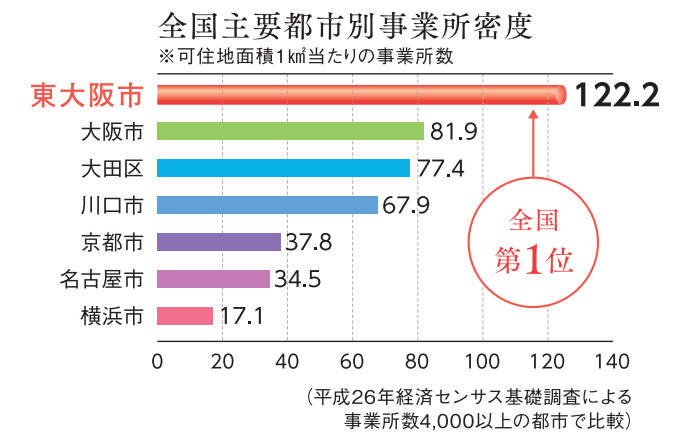
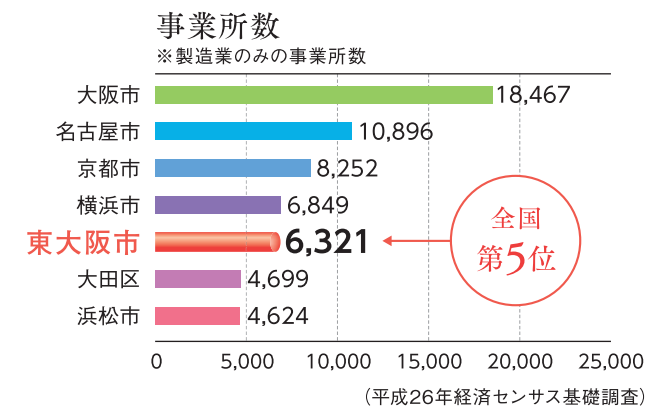


伸線業

近代、生駒山の河川で水車を利用した動力源により伸線業が盛んになりました。

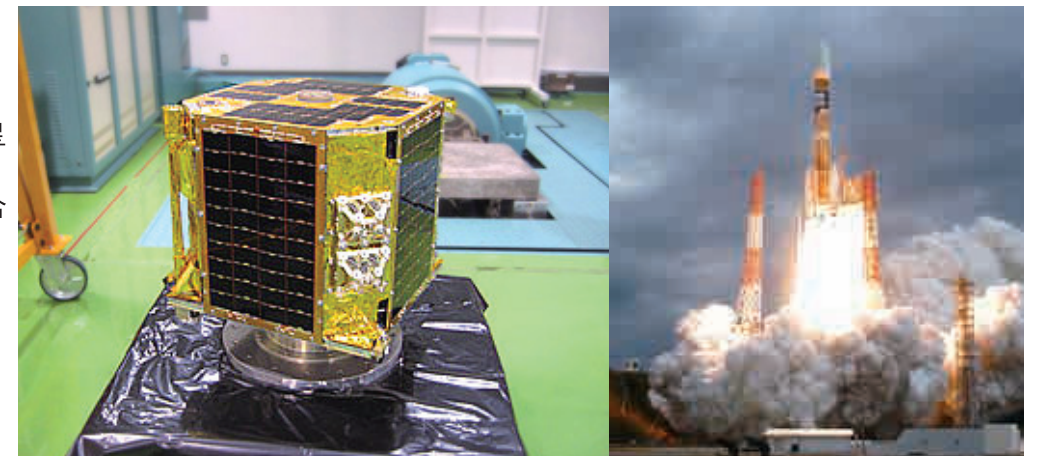
全国トップのモノづくり企業集積地

東大阪は工場数が全国5位、工場集積度は全国1位（製造業の事業所数4,000以上の都市比較）という技術力と創造力が集結する先進都市です。



まいど1号

東大阪を中心とした中小企業の技術力を世界に示した人工衛星「まいど1号」。東大阪宇宙開発協同組合（現・宇宙開発協同組合SOHLA）が研究・開発し、打ち上げに成功しました。



デザインプロジェクト

世界的工業デザイナーの喜多俊之氏をデザインクリエイティブアドバイザーとして迎え、市内企業のデザイン力向上に力を入れています。



医工連携

国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科および医学部附属病院と協定を締結し、市内企業の高い技術力を活かした健康・医療・介護分野への参入促進を図っています。

人を育む 歴史と文化

歴史あるまち東大阪は、貴重な史跡や偉大な作家の記念館など、文化に触れることができる施設が充実しています。

History and Culture
that nurture People

Higashiosaka, a historical city,
is blessed by facilities that
people can contact with culture
such as precious historical sites
and great writer.



鴻池新田会所

豪商鴻池家が江戸時代に開発した新田の
管理・運営を行った施設。江戸時代の建造
物と庭園、鴻池家から寄贈された民具類を現
代に伝えています。本屋、屋敷蔵などの建造
物は、国の重要文化財に指定されています。

鴻池元町2-30
TEL06-6745-6409
●開館時間／10時～16時
(入館は15時30分まで)
●休館日／月曜日(祝日の場
合は開館し、翌日休館)、祝日
の翌日(土・日曜日の場合は開
館)、年末年始

旧河澄家

江戸時代、日下村の庄屋を務めた旧
家。数寄屋風書院造りの「棲鶴楼」と
呼ばれる奥座敷や大きな土蔵など風
格ある佇まいを観ることができます。

日下町7-6-39
TEL072-984-1640
●開館時間／9時30分～16
時30分
●休館日／月曜日(祝日の場
合は開館し、翌日休館)、祝日
の翌日(土・日曜日の場合は開
館)、年末年始



下小阪3-11-18
TEL06-6726-3860
●開館時間／10時～17時(入館は
16時30分まで)
●休館日／月曜日(祝日、振替休日の
場合は開館し、翌日休館)、年末年始、
特別資料整理期間(9月1日～10日)

司馬遼太郎記念館

国民的作家であり、東大阪市の名誉市民でもあ
る司馬遼太郎氏の功績を後世に伝えるため、司
馬遼太郎氏の自宅と安藤忠雄氏の設計による
建物で構成された記念館。記念館には、当時の
まに残された書斎やたくさんの貴重な資料が展
示されています。また、司馬遼太郎氏の命日(2月
12日)である「菜の花忌」前後には、菜の花が飾
られ、シンポジウムや講演会も開かれています。



大阪商業大学商業史博物館

近世大阪の商業をテーマにさまざまな歴
史資料を収集・調査研究・展示・保管して
います。展示資料には、蔵屋敷・両替商・
大阪三郷の自治制などに関する古文書の
ほか、千両箱・大判・小判などの貴重な実
物資料もあります。

御厨栄町4-1-10
TEL06-6785-6139
●開館時間／10時～16
時30分
●休館日／日曜日、祝日、創
立記念日(2月15日)、年末
年始、大学の休業日

大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館

大阪樟蔭女子大学の前身である樟蔭女
子専門学校を卒業した田辺聖子氏の偉
業をたたえ、大阪樟蔭女子大学が創立
90周年記念事業として開館しました。在
学中の原稿や思い出の品々とともに文
学世界をはじめ、人生や世界観など多様
な角度から田辺聖子氏に触れることがで
きます。

菱屋西4-2-26
大阪樟蔭女子大学図書館内
TEL06-6723-8182
●開館時間／9時～17時
(土曜日は16時まで)
●休館日／日曜日、祝日、大
学の休業日



春

稲田桃



豊かな自然に
抱かれて

Blessed
with full
of nature

生駒山系の緑豊かで美しい自然に
抱かれた東大阪市。
四季折々の鮮やかな風景が市民の
暮らしを彩ります。

Higashiosaka, richly endowed with natural beauty at the foot of Mt. Ikoma.
Vivid landscapes of each season add spice to citizens' daily life.

アジサイ

夏



秋

紅葉



菜の花



冬

春

稲田桃 [第二寝屋川堤防沿い]

見ごろ 4月上旬

江戸時代後期に稲田地区で盛んに栽培された稲田桃。平成13年に市民による「稲田桃再生栽培プロジェクト」が立ち上げられ、原木から桃の種を採取して増やし、現在は約700本が濃いピンクの花を咲かせます。

Peach cultivation has flourished in Inada area during late Edo period. With an aim of propagation of Inada peach, "Inada Peach Reproduction Project" was launched by citizens in 2001 to take seeds from virgin trees. Currently, approximately 700 trees produce masses of pink flowers in season.

夏

アジサイ [ぬかた園地]

見ごろ 6月中旬～7月中旬

大阪府内で最大の規模を誇るあじさい園には、30種類以上、2万5,000株ほどのアジサイが1.5kmにわたって植えられ「あじさいプロムナード」と呼ばれています。生駒山の標高500mの位置にあるため、通常より2～3週間遅く見ごろを迎えます。

The hydrangea park, one of the largest in Osaka Prefecture, boasts of approximately 25,000 hydrangea shrubs of more than 30 types planted on the walking trail called "Ajisai (hydrangea) Promenade" for over 1.5km long. The best season to view the flowers is about 2-3 weeks later than usual as the park is located at a height of 500m above sea level.

秋

紅葉 [生駒山]

見ごろ 11月下旬～12月上旬

緑豊かな生駒山は、秋が深まると美しい紅葉を楽しむことができます。生駒山山頂付近を南北に走る信貴生駒スカイラインでは、カーブを曲がるたびに絶景に出合えます。

In late autumn, people can enjoy beautifully colored leaves at Mt. Ikoma, a lush green mountain. Magnificent views jump to the eye when going round every curve on the "Shigi-Ikoma Skyline" road which runs north-south around the mountain top area.

冬

菜の花 [小阪・八戸の里周辺]

見ごろ 2月中旬～下旬

市の名誉市民である司馬遼太郎氏が好きだった菜の花。この季節になると、菜の花が司馬遼太郎記念館と小阪・八戸の里周辺を明るく彩ります。

Field mustard, a flower loved by Ryotaro Shiba, an honorary citizen of Higashiosaka. At this time of year, field mustard flowers brilliantly color "Shiba Ryotaro Memorial Museum" and its neighborhood Kosaka and Yaenosato area.

名誉市民

Honorary Citizen

東大阪市民または東大阪市に縁故の深い方で、
公共の福祉の増進または学術、文芸、産業など広く
社会文化の進展に貢献し、その功績が卓絶で、
市民の敬愛の的と仰がれる方に
名誉市民の称号を贈っています。

A title of Honorary Citizen is given to the citizens of Higashiosaka or those deeply related to the city who contributed to the enhancement of public welfare and sociocultural promotion in the fields of academics, literature and industry and others with outstanding achievements, and are respected and adored by the citizens.



井山裕太氏 [平成元年5月24日～]

Yuta Iyama [May 24, 1989 -]

囲碁界史上初の七冠(棋聖、名人、本因坊、王座、天元、碁聖、十段)同時制覇という偉業を達成されました。七冠独占の快挙は多くの市民、特に青少年に夢と希望を与え、さらには本市の発展に大きく貢献されましたので、平成28年(2016年)8月19日、名誉市民の称号を贈りました。

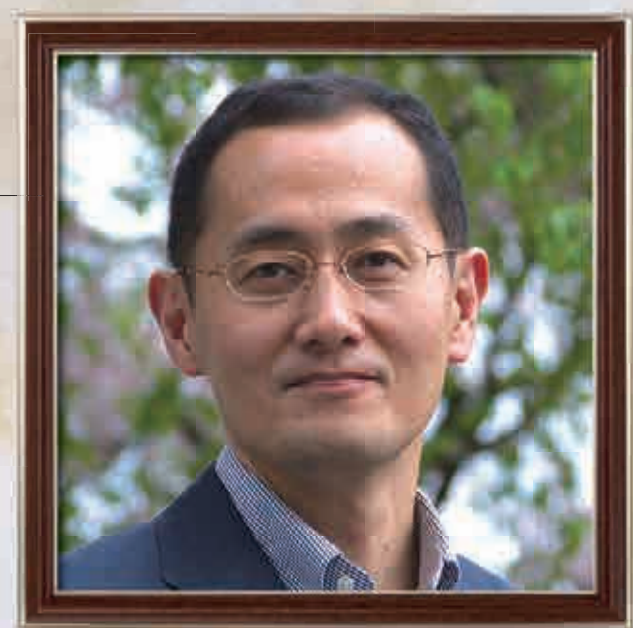
Yuta Iyama made a great achievement of winning all seven major titles; Kisei, Meijin, Honinbo, Oza, Tengen, Gosei and Judan; simultaneously for the first time ever in the world of Go. This amazing achievement of monopolizing seven crowns gave much inspiration to the citizens, especially to the young people, and further contributed to the promotion of our city. Thus, he was awarded the title of honorary citizen on August 19, 2016.

山中伸弥氏 [昭和37年9月4日～]

Shinya Yamanaka [September 4, 1962~]

小学校3年生までを東大阪市内で過ごされ、あらゆる細胞に分化する能力があるiPS細胞の作製に世界で初めて成功し、平成24年12月にノーベル生理学・医学賞を受賞されました。この業績は、全世界に夢と希望を与えるものであり、さらには本市の発展に大きく寄与されましたので、平成25年(2013年)7月1日、名誉市民の称号を贈りました。

Born and raised in Higashiosaka until the 3rd grade of elementary school. In December 2012, Dr. Yamanaka was awarded Nobel Prize in Physiology and Medicine for his successful creation first in the world of iPS cells that are capable to develop into all cell types. In recognition of his great achievement that gives dream and hope to the whole world and his great contribution to our city, Higashiosaka bestowed a title of Honorary Citizen on him in July 1, 2013.



塩川正十郎氏 [大正10年10月13日～平成27年9月19日]

Masajuro Shiokawa [October 13, 1921~September 19, 2015]

昭和39年旧布施市助役に就任、41年に東大阪三市合併協議会事務局長として本市誕生に貢献されました。また、国会議員として活躍される一方で、運輸・文部・自治・財務大臣、内閣官房長官を歴任。これまで、市政の進展に多大な貢献をされ、平成16年(2004年)5月24日、名誉市民の称号を贈りました。

Masajuro Shiokawa contributed to the formation of Higashiosaka City as a deputy mayor in 1964 and as a secretary general of Higashiosaka's Merger Council in 1966. While playing an active role as a Diet member, he served various posts such as Minister of Transport, Education, Home Affairs, Finance and Chief Cabinet Secretary. In appreciation of his great contribution to our city, he was granted a title of Honorary Citizen in May 24, 2004.

司馬遼太郎氏 [大正12年8月7日～平成8年2月12日]

Ryotaro Shiba [August 7, 1923~February 12, 1996]

作家生活の大半を市内で過ごし、膨大な資料をもとに生き生きとした人物像を描き出した歴史小説群をはじめ、紀行、エッセイ、文明論などをこの地から発表され続けました。各種文学賞や文化勲章などを受章され、また、幅広い活動により市政にも大いに貢献され、平成8年(1996年)3月4日、名誉市民の称号を贈りました。

Spent most of his life as a writer in Higashiosaka, Ryotaro Shiba published numerous works such as travel journals, essays and theories pertaining to civilization including historical novels vividly portrayed personage based on the research of enormous amount of materials. Following various literary prizes and the Government's Order of Cultural Merit, he received a title of Honorary Citizen in March 4, 1996 for his great contribution to our city through his wide variety of activities.

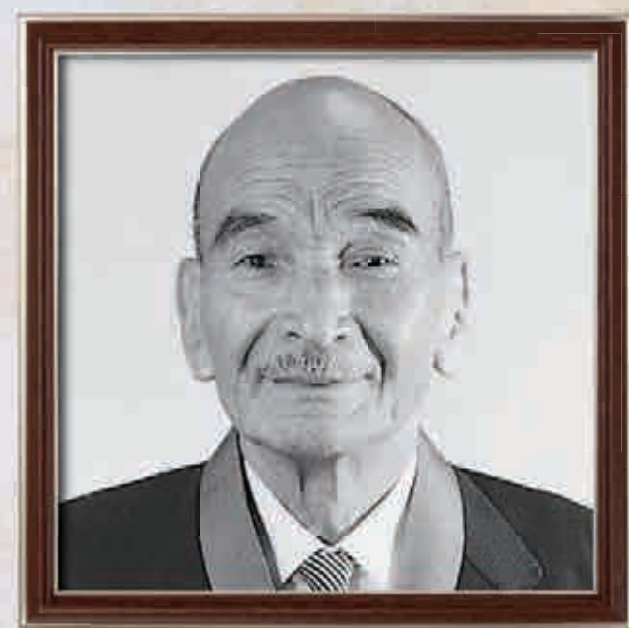


上野義雄氏 [明治27年4月11日～昭和53年8月26日]

Yoshio Ueno [April 11, 1894~August 26, 1978]

東大阪三市合併促進連盟会長、総合計画審議会会長、社会福祉協議会会長などの要職を歴任され、市政の発展と社会福祉の向上に大きく寄与されました。また、商工会議所会頭、東大阪信用金庫理事長なども務められ、本市産業の振興に多大な貢献をされました。昭和44年(1969年)9月27日、初の名誉市民の称号を贈りました。

The first title of Honorary Citizen was granted to Yoshio Ueno in September 27, 1969 who made a significant contribution to the growth of our city and improvement of social welfare as a chairman of the Higashiosaka Three-cities Merger Promotion Federation, Comprehensive City Planning Commission and Social Welfare Council. He also played an important role for the progress of Higashiosaka's industries as a chairman of the Chamber of Commerce and Industry and Higashiosaka Shinkin Bank.



今も魂に息づく東大阪のモノづくりの心

Manufacturers' spirit of Higashiosaka still lives deep in his soul

Professor Shinya Yamanaka was born in a family which was running a small factory in town and had a close connection with manufacturing since his childhood. We interviewed him about his memories in Higashiosaka City and future expectations for the city.

町工場を営む家に生まれ、幼いころからモノづくりを身近に感じていた山中伸弥教授。
東大阪市での思い出や
今後の期待などについてお聞きしました。



市内で印象に残っている場所がありますか？

石切神社が家から近く、よく遊んでいました。当時は、東大阪市が誕生して間もないころだったと思いますが、街並みが今のように整備されておらず、身近に自然がたくさんありましたね。犬も放し飼いにしていたのを覚えています。

幼少期を過ごされた東大阪市についてどのように感じておられますか？

私のかけがえのないふるさとです。世界に誇る高い技術力をもつ町工場は東大阪市の強みです。

ラグビーも忘れてはいけません。大学在学中の3年間、私自身もラグビーをしていましたので、親しみがあります。帰省すると自転車で花園ラグビー場まで行き、最前列で観戦していたことは懐かしい思い出です。

ご実家は町工場を営んでいたとのことですが、モノづくりから学ばれたことはありますか？

東大阪市に住んでいたころは、父が営む町工場と同じ敷地に住居がありました。生まれたころから、職人さんたちの作業を間近で見っていました。日々、試行錯誤を重ね努力する「トライ&エラー」の精神は、私の魂に息づいていると思います。臨床医を志していたころは、整形外科を選択し、モノづくりに没頭する父の姿を連想していました。

今後、東大阪のモノづくりの力と山中教授の研究が合わさって何か新しい開発ができないでしょうか？

可能性はあると思います。東大阪市に存在する色々な技

術と私たち研究者が交流できるようになってきたと感じます。そんな中から、新しいブレークスルー、今まで考えもしなかったことができるようになる可能性があるのではないかと思います。そんな未来を楽しみにしています。

今は、どのような研究や活動をされていますか？

主に3つの拠点があります。1つ目は、総勢500名ものメンバーを抱える京都大学iPS細胞研究所、2つ目は企業との共同開発を進めている湘南の研究所、そして3つ目が自分自身の研究を行うサンフランシスコの研究所です。3つの場所を行き来しながら、終わりのない新しい技術開発に努めています。

そんな合間を縫って、マラソンの練習もしています。平成28年の京都マラソンでは3時間44分という自己ベストが出せたので、1分でもタイムを縮めるべくトレーニングを続けたいです。



平成24年12月にノーベル生理学・医学賞を受賞

提供：毎日新聞社

ラグビーワールドカップ花園開催への期待や思いをお聞かせください。

聖地花園でのラグビーワールドカップ開催が決まって本当に良かったです。わくわくしますね。近くに住んでいると「いつでも行ける」と思ってしまい、なかなか見に行くことがなかったのですが、この晴れ舞台はぜひ応援に行きたいです。

50周年を迎えた東大阪市への期待はありますか？

3市が合併して、しばらくはそれぞれの市の特徴が残っていた印象ですが、50年の歳月を経てひとつの立派な市に成長したなと思います。その間には、多くの方々のご尽力があったのだと感じます。モノづくりもラグビーも大切な市の財産です。これからも誇りをもって100年、200年と伝え継いでいってほしいですね。

大阪には多くの観光客が訪れるようになり、世界中から注目される都市になってきました。東大阪も国際都市として発展していったらいいですね。



山中教授のこれからの夢や抱負をお聞かせください。

目標は、iPS細胞という技術で今は治せない病気の患者さんを何十年後に治せるようにすることです。私の父は私が25歳のとき、当時の医療技術では治せなかった病気で亡くなりましたが、30年以上経った今では治せるようになっています。こうして、時間はかかりますが、一つひとつ克服していけたらいいなと思っています。

市民の皆さんへメッセージをお願いします。

東大阪市で育ち、ずっと関わってきたので、町工場の力や魅力あるまちに感謝の気持ちがいっぱいです。私が見本になるかどうか分かりませんが、生き方のひとつの例として見ていただけたらうれしいです。

東大阪市出身の素晴らしい方はたくさんいらっしゃいます。色々な人材が登場してくれることを期待しています。



平成25年7月に名誉市民の称号を贈呈

布施・河内・枚岡の3市が合併して 東大阪市誕生



Higashiosaka City formed
after the merger of
three cities,
Fuse, Kawachi and Hiraoka



「東大阪市」名称の由来

東大阪は、三市合併以前から市民に親しみをもって呼称されてきたものであり、将来この新しい市がこの地域の中核都市として発展するにふさわしい名称であるとして、合併前の昭和41年8月に、「東大阪市」と決定されました。

Origin of the name of "Higashiosaka City"

Name of "Higashiosaka" has been adopted on August, 1966, as the citizens affectionately called "Higashiosaka," meaning "east of Osaka," even before the merger, and also this name was considered appropriate for a new-born city to be developed as a core city in the future.



昭和42年(1967)～昭和51年(1976)

高度成長期にあわせ
10th人口50万人突破!!



人口50万人突破

昭和44年7月、東大阪市の人口が初めて50万人を超えました。当時、全国で50万人以上の都市はわずか14都市。東大阪は15番目としてその仲間入りを果たしました。戦後初めて国勢調査が行われた昭和22年が21万2,000人、昭和42年2月に三市合併したときが、46万3,000人でした。50万人目として誕生した赤ちゃんのもとへは、当時の辰巳市長も訪れ、祝福しました。



府道築港枚岡線開通

昭和42年(1967) 2月 ○ 東大阪市の誕生
4月 ○ 市民会館が完成
昭和44年(1969) 7月 ○ 市の人口が50万人に
9月 ○ 上野義雄氏に初の名誉市民の称号を贈る
昭和45年(1970) 3月 ○ 府道築港枚岡線が開通

昭和47年(1972) 12月 ○ 郷土博物館が完成
昭和49年(1974) 1月 ○ 水道局庁舎が完成
昭和50年(1975) 11月 ○ 第1回市民会議を開催
昭和51年(1976) 3月 ○ 近畿自動車道が東大阪市まで開通

昭和52年(1977)～昭和61年(1986)

20th 市民力の向上 発展の礎を築く



第1回市民ふれあい祭り

昭和53年5月、五月晴れのもと近鉄奈良線沿いの布施～河内小阪駅間で第1回市民ふれあい祭りが開催され、小さな子どもからお年寄りまで総勢2,200人がパレードを展開。
この日は、市民約10万人が集まり、初めてのふれあい祭りを楽しみました。



近鉄東大阪線が開通

昭和52年(1977) 2月 ● 市制施行10周年記念式典を開催
6月 ● 近鉄布施駅周辺の高架化工事が完了
7月 ● 東大阪まつりを開催
11月 ● 市民文化祭を開催
昭和53年(1978) 5月 ● 第1回市民ふれあい祭りを開催
10月 ● 総合計画基本構想が決定
昭和58年(1983) 4月 ● 枚岡・布施保健所が府から移管され東・西保健所となる

昭和59年(1984) 4月 ● 中保健所がオープン
第1回植樹祭を開催
5月 ● 消費生活センター・中小企業指導センターがオープン
昭和60年(1985) 3月 ● 地域防災計画を策定
4月 ● 市立小学校で月1回の米飯給食がスタート
11月 ● 平和都市宣言と青少年健全育成都市宣言を行う
昭和61年(1986) 10月 ● 長田～生駒間を結ぶ近鉄東大阪線が開通

昭和62年(1987)～平成8年(1996)

30th 全国への飛躍!! “ラグビーのまち”を表明



第1回中学生ラグビー大会

花園ラグビー場は、昭和38年から全国高等学校ラグビーフットボール大会の会場となり、東大阪市は、毎年冬になると全国からたくさんのラグビーファンが集まるまちとなりました。
そこで平成3年、ラグビーのもつ「力強さ」「連帯性」「すがすがしさ」といったイメージを活かしたまちづくりを進める決意として、「ラグビーのまち」を表明しました。



花園図書館オープン

昭和62年(1987) 2月 ● 市制施行20周年記念式典を開催
平成3年(1991) 2月 ● 新基本計画第1次実施計画を策定
3月 ● 「ラグビーのまち」を表明
平成4年(1992) 2月 ● 第1回中学生ラグビー大会を開催
5月 ● 「ラグビーのまち東大阪」のマスコットキャラクター「トライくん」が誕生
6月 ● 花園図書館がオープン

平成5年(1993) 4月 ● 7か所の行政サービスセンターで窓口業務がスタート
平成7年(1995) 1月 ● 阪神・淡路大震災の被災地に物資や義援金などの救援活動を行う
4月 ● 総合体育館「東大阪アリーナ」がオープン
平成8年(1996) 3月 ● 2月に亡くなった司馬遼太郎氏に名誉市民の称号を贈る

平成9年(1997)～平成18年(2006)

40th 新たなステージへ 新庁舎完成と 中核市移行



新庁舎完成



中核市「東大阪市」の誕生

三市合併以来の念願であった総合庁舎が平成15年3月に完成し、5月から新庁舎での業務を開始しました。
さらに平成17年4月には、府内で3番目の中核市となり、「夢と活力あふれる元気都市・東大阪」の創造へ新たなスタートをきりました。

- 平成9年(1997) 2月 ● 市制施行30周年記念式典を開催
- 4月 ● 第二阪奈有料道路が開通
- 5月 ● 第1回全国中小企業都市サミットを東大阪市で開催
- 8月 ● 花園中央公園多目的球技広場が完成
- 9月 ● 国史跡・重要文化財鴻池新田会所の一般公開が始まる
- 11月 ● 市民美術センターがオープン
- 平成10年(1998) 5月 ● 市立総合病院がオープン
- 平成13年(2001) 11月 ● 司馬遼太郎記念館がオープン
- 平成15年(2003) 3月 ● 総合庁舎が竣工
- 4月 ● 男女共同参画センター「イコラム」がオープン

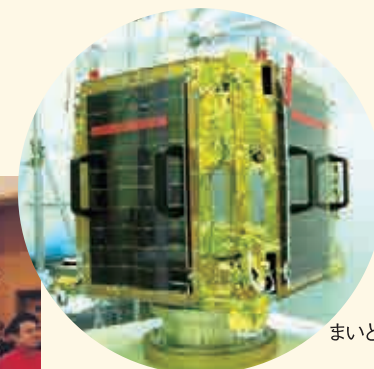
- 平成15年(2003) 5月 ● 総合庁舎移転、新庁舎にて業務を開始
- 平成16年(2004) 2月 ● 東京で初の産業展「もうかりメッセ東大阪」を開催
- 5月 ● 塩川正十郎氏に名誉市民の称号を贈る
- 平成17年(2005) 1月 ● 全国高校ラグビーフットボール大会に「東大阪市賞」を創設
- 4月 ● 中核市に移行
- 平成18年(2006) 4月 ● 花園中央公園野球場「花園セントラルスタジアム」がオープン
- 全国初の「消費者憲章」を制定

平成19年(2007)～平成28年(2016)

50th 全国そして世界へ ラグビーとモノづくり が全開!!



打ち上げ成功を喜ぶ野田市長ら



まいど1号

平成21年1月、東大阪のモノづくりの技術力の結晶「まいど1号」が種子島宇宙センターから打ち上げられ、見事成功しました。この話題はさまざまなマスコミに取り上げられ、東大阪のモノづくりの技術力が全国に知れ渡りました。

平成27年3月には、花園ラグビー場がラグビーワールドカップ2019日本大会の試合会場に選出。2年後には、聖地花園で世界のトッププレイヤーによる熱い戦いが繰り広げられます。



試合会場決定に市役所が歓喜に包まれました

- 平成19年(2007) 2月 ● 市制施行40周年記念式典を開催
- 平成20年(2008) 3月 ● JRおおさか東線が開通
- 4月 ● 消防総合庁舎および防災学習センターがオープン
- 平成21年(2009) 1月 ● 人工衛星「まいど1号」打ち上げ成功
- 10月 ● 歌手の中村美律子さんを観光大使に任命
- 平成22年(2010) 5月 ● 近鉄奈良線奈良方面行き高架化工事が完成
- 6月 ● クールビズにあわせ市職員がラガーシャツ着用開始

- 平成23年(2011) 1月 ● 東大阪カレーパン会発足
- 9月 ● ご当地ナンバープレート交付開始
- 平成25年(2013) 7月 ● 山中伸弥氏に名誉市民の称号を贈る
- 平成26年(2014) 9月 ● 近鉄奈良線 八戸ノ里～瓢箪山間高架化工事が完成
- 平成27年(2015) 3月 ● ラグビーワールドカップ2019日本大会の試合会場に花園ラグビー場選出
- 4月 ● 東大阪市花園ラグビー場として供用開始
- 平成28年(2016) 8月 ● 井山裕太氏に名誉市民の称号を贈る

統計

面積・位置

面積	61.78km ²
最東 山手町 東経	135°40'54"
最西 足代一丁目 東経	135°33'35"
最南 大蓮東四丁目 北緯	34°37'44"
最北 加納六丁目 北緯	34°42'04"

土地利用状況 (平成22年10月現在)

区 分	(ha)	構成比(%)	区 分	(ha)	構成比(%)	区 分	(ha)	構成比(%)
総数	6181.0	100.0	普通緑地	430.1	7.0	山 林	1030.5	16.7
市街地	4094.2	66.2	公園・運動場・遊園地	178.7	2.9	水 面	46.3	0.7
一般市街地	2620.9	42.4	社寺敷地・公開庭園	24.4	0.4	公共施設	69.6	1.1
商業業務地	445.0	7.2	学 校	214.3	3.5	道路・鉄道	252.7	4.1
工業地	1028.3	16.6	墓 地	12.7	0.2	荒地・その他空地	25.4	0.4
集落地	—	—	農地	232.2	3.8			
			田	142.1	2.3			
			畑	90.1	1.5			

人口・世帯数

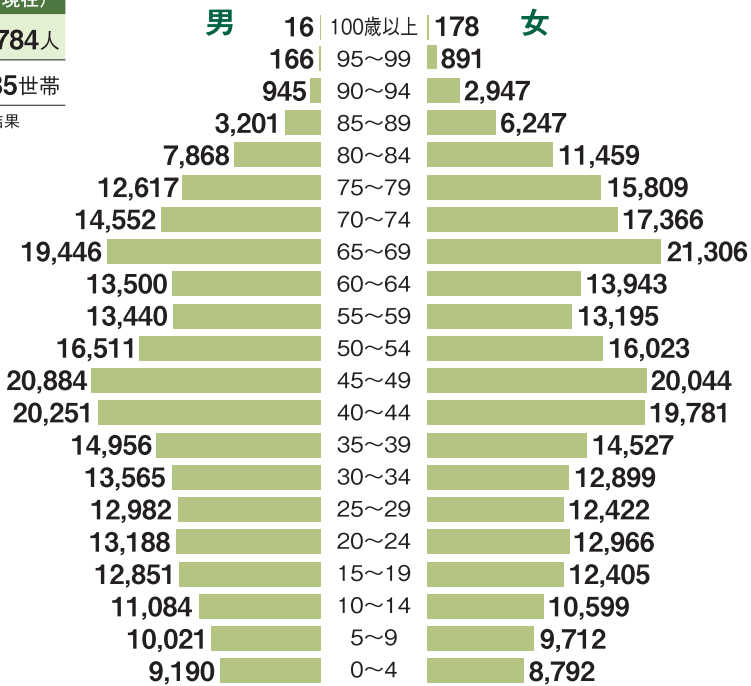
(平成27年10月1日現在)

人口総数 502,784人

世帯数 223,485世帯

※平成27年国勢調査結果
(確報値)

年齢男女別人口構成 (平成28年9月30日現在)



注) 住民基本台帳法の改正(平成24年7月9日施行)により
住民基本台帳人口に外国人を含む。

人口・世帯数の推移 (各年10月1日現在)

年	人 口			世帯数
	総数	男	女	
大正9年	57,667	29,065	28,602	12,210
昭和5年	102,889	52,436	50,453	22,989
15年	193,050	98,946	94,104	42,112
25年	230,861	113,560	117,301	52,711
35年	318,001	160,781	157,220	76,535
45年	500,173	253,725	246,448	145,950
55年	521,558	261,810	259,748	170,672
平成2年	518,319	257,262	261,057	181,248
12年	515,094	254,331	260,763	203,392
22年	509,533	249,964	259,569	217,762
27年	502,784	246,053	256,731	223,485

※大正9年から昭和35年までの人口は、合併前の旧市町村の区域の
合計値であり、一部境界変更による調整はしていない。

社会福祉施設 (平成27年3月31日現在)

助産施設	3	養護老人ホーム	1
母子生活支援施設	1	老人センター	6
児童養護施設	5	特別養護老人ホーム	27
知的障害児施設	0	軽費老人ホーム(ケアハウス含む)	8
福祉型児童発達支援センター	1	身体障害者福祉センター	3
医療型児童発達支援センター	1	障害者入所施設	2
児童館	2	生活介護	34
救護施設	1	就労継続支援	57

学校園 (平成28年4月1日現在)

大学	4
短期大学	2
高等学校(定時制含む)	15
中学校	27
小学校	52
特別支援学校	2
専修学校	5
各種学校	5

※大学・短期大学の通信教育は含まない。

文化財 (平成27年10月31日現在)

文化財保護法による指定	5
文化財保護法による登録	18
府条例指定	27
市条例指定	84
市規則指定	3

医療施設 (平成26年10月1日現在)

区分	施設数	病床数
病院	24	4,582
一般診療所	413	76
歯科診療所	295	—

人口密度

1km²当たり
8,080.2人



世帯人口

1世帯当たり
2.23人



出 生

1日に
9.6人



死 亡

1日に
13.9人



転 入

1日に
44.2人



転 出

1日に
44.2人



結 婚

1日に
6.6組



離 婚

1日に
3.1組



水 道

1人1日
0.32m³



交通事故

1日に
7.0件



火 災

1日に
0.39件



消防隊員

市民
1,000.4人
に1人



ごみ処理量

1日に
519.5トン



救急車出勤数

1日に
80.1件



市職員

市民
143.4人
に1人



市 税

市民1人当たり
150,011円



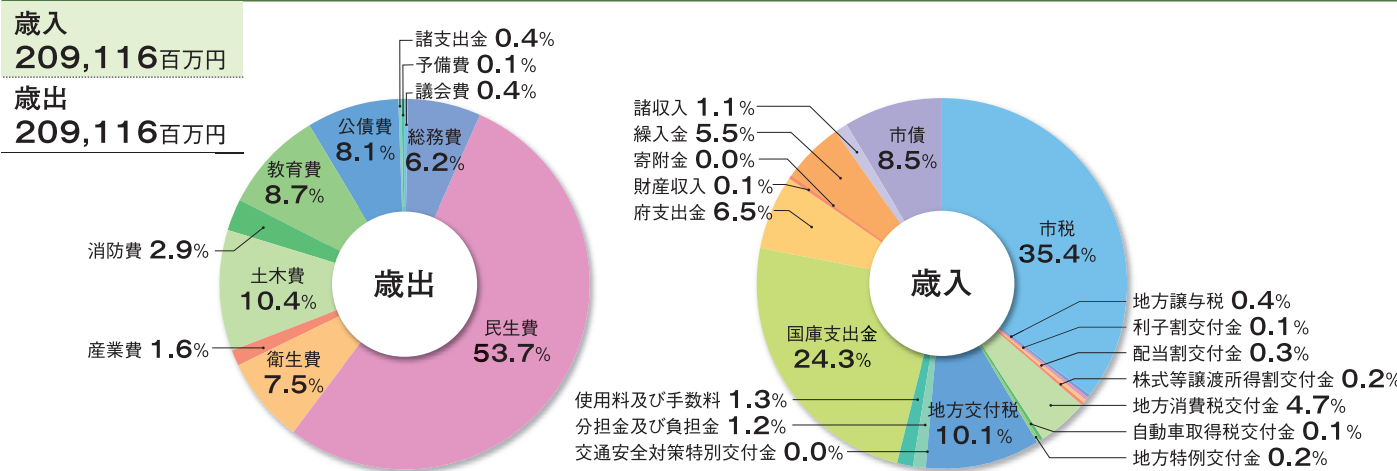
財政

平成28年度当初予算

当初歳出予算

一般会計		特別会計	
	209,116百万円	国民健康保険事業	72,732百万円
		奨学事業	44百万円
		財産区管理	46百万円
		公共用地先行取得事業	1,069百万円
		交通災害共済事業	34百万円
企業会計		火災共済事業	33百万円
病院事業	17,229百万円	介護保険事業	42,087百万円
水道事業	13,535百万円	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	110百万円
下水道事業	31,818百万円	後期高齢者医療	10,163百万円

一般会計当初予算



市 議 会 市民の代表 市議会



市議会は、選挙で選ばれた市議会議員（定数38人）で構成されています。市民の代表者である議員は、予算や条例などを審議・決定し、市政の方向を示す役割を担っています。議会は、3月、6月、9月、12月の年4回の定例会と、必要に応じて臨時会が開かれます。また議会内部の審査機関として、常任委員会と特別委員会を設け、市行政をより専門的に調査・審議しています。

City Council

The Higashiosaka City Council,
as a representative of the citizens,

The Higashiosaka City Council consists of elected council members. (fixed number is 38)
Each council member who is a representative of the citizens is committed to play a role of
indicating a direction taken by the city administration by discussing and determining the
city budget, local ordinance and other issues.

There are four ordinary sessions a year regularly in March, June, September and
December as well as an extraordinary session held as necessary.

Standing committees and Special committees are established under the council's
jurisdiction to efficiently investigate and examine various issues in regards to the city
administration from experts' point of view.

市の紹介

市 章



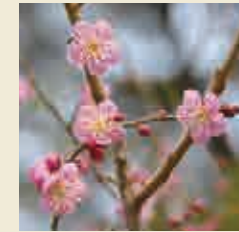
東大阪市の頭文字
「ひ」の字を図案化し、
平和と希望の象徴である
鳩の姿であらわしたものです。
はばたく鳩のイメージは
「豊かな住みよいまち」をめざし、
躍動するわたしたちの
まちの輝かしい未来を
示しています。

市の木 [クスノキ]



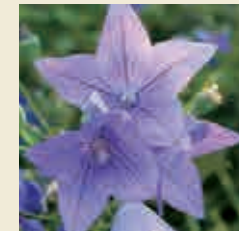
常緑高木。非常に寿命が長く、大木となります。現在も市内に多く生育しており、石切劔箭神社のクスノキは市の天然記念物に指定しています。

市の花 [ウメ]



落葉高木。早春、ほかの花に先がけて香りのよい花が咲き、多くの人々に愛されています。

市民の花 [キキョウ]



野山に自生している宿根草で「秋の七草」にも数えられ、誰もが手軽に育てることができます。毎年、夏から秋にかけて青紫色の可憐な花を咲かせます。

東大阪市市歌

作詞 上出 満 作曲 外山 雄三

【一】
みどりのいぶき さわやかな
生駒の峯を 朝夕に
仰いでほげむ わが都市は
三つの力 よせあつて
心ひとつに そだつ都市
若い希望が もえている
東大阪市のびゆく郷土

【二】
文化のかおり 空にみち
商工の幸 地にあふる
河内平野の わが都市は
歴史を今に 新しい
夢をもとめて 進む都市
実り豊かに あふれてる
東大阪市の花咲く郷土

【三】
西になにわの あかね空
東にのびる 生駒 信貴
理想も高く わが都市は
自治と平和の 鐘ひびく
とわの栄えを 招く都市
若いこだまも よんでいる
東大阪市の栄光ある郷土

東大阪市イメージソング「東大阪めっちゃ元気な『まち』やねん」

作詞 南 英市 作曲 つんく

【一】
このまち元気な まちやねん
めっちゃ楽しい まちやねん
まいど1号 宇宙へどんと
ちから合わせて 打ち上げる
夢と期待と 意気がある
東大阪 そやよって
みんなホンマに 好きやねん
みんながんばる まちやねん やねん

【二】
このまち元気な まちやねん
めっちゃ明るい まちやねん
若いラガーの 声さえどんと
心わくわく はずませて
風もきらめく 四季がある
東大阪 そやよって
みんなホンマに 好きやねん
みんながんばる まちやねん やねん

【三】
このまち元気な まちやねん
めっちゃ嬉しい まちやねん
河内気質の ど根性どんと
込めて自慢の モノづくり
繁盛新たな 明日がある
東大阪 そやよって
みんなホンマに 好きやねん
みんながんばる まちやねん やねん